

1 教科の到達目標（学習のねらい、身に付けたい力）

- みんなで音を出すことの楽しさを体験し、音や音楽に対する関心をもち、豊かに音楽を感じる心を育む。
- 音楽表現の豊かさや美しさを感じ取って表現するための基礎となる、発声の仕方や楽器の奏法などを身に付け、表現する力を養う。
- 日本の心の歌や日本の伝統的な音楽、和楽器に触れることによって、古くから受け継がれてきた日本人の心を感じ、表現する態度を養う。

2 年間学習計画と単元

学期	月	単元名	内 容	達成目標(ねらい)
1	4	歌唱「校歌」 歌唱「主人は冷たい土の中に」	<ul style="list-style-type: none"> ・校歌の歌詞の内容を理解し、暗唱する。 ・歌詞の内容や曲想を感じ取って歌唱表現を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・上石神井中学校の一員として、自信をもって校歌を歌う。 ・創意工夫を生かした表現で歌うための技能を身に付けて歌唱している。
	5	鑑賞「四季」より春	<ul style="list-style-type: none"> ・弦楽器について知り、詩をもとに情景をイメージしながら曲想の変化を聴き取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・バロック音楽の特徴をつかみ、曲の構成と曲想の変化を感じ取る。
	6	器楽 アルトリコーダー 「喜びの歌」 創作「ことばとリズム」	<ul style="list-style-type: none"> ・アルトリコーダーの基本的な奏法を習得する。 ・さまざまなリズムを言葉にリンクさせ、言葉にはリズムがあることに気付く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アルトリコーダーの特性を知り、基本的な奏法を身に付ける。 ・さまざまなリズムを知覚し、言葉とリンクさせてリズム打ちする。 ・ことばと音符の関係を理解して、8小節の楽譜を完成させる。
2	7	器楽・箏「さくらさくら」	<ul style="list-style-type: none"> ・箏の音色を味わい、実際に奏でる楽しさを味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の伝統的楽器に興味をもち、後世に伝えていく態度を養う。
	9	鑑賞「六段の調」	<ul style="list-style-type: none"> ・箏曲を鑑賞し演奏の参考にする。 	
3	10	混声合唱 課題曲	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想を感じ取り、速度や強弱の変化を生かした表現をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・声部の役割を生かした音楽表現をするために必要な発声、発音、呼吸法などの技能を身に付けて歌う。
	11	歌唱「浜辺の歌」	<ul style="list-style-type: none"> ・8分の6拍子、フレーズ、強弱を知覚する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な発声法を習得し、声を豊かに響かせる。
	12	鑑賞「魔王」	<ul style="list-style-type: none"> ・声やピアノの音色、登場人物の心情や情景を表した旋律を知覚する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・詩と音楽とのかかわりを感じ取り、言葉で説明する。
	1	器楽・アルトリコーダー 「オーラリー」 混声合唱 合唱「課題曲」 「自由曲」 「卒業式の曲」	<ul style="list-style-type: none"> ・アルトリコーダーの基本的な奏法を習得する。 ・曲想を感じ取り、速度や強弱の変化を生かした表現をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アルトリコーダーの特性を知り、基本的な奏法を身に付ける。 ・自分のパートだけではなく、他のパートとの音の重なりを感じながら演奏する。 ・歌詞の内容を曲の表現に生かすために必要な発声、言葉の発音、呼吸法などの技能を身に付けて歌う。
	2			
	3			

3 評価方法

評価の観点	評価規準	評価方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none">・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表現している。	<ul style="list-style-type: none">・授業態度・提出物・授業プリント・実技テスト・定期考査
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none">・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚したり、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じている。・知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもって表現しようとしている。・楽曲の時代背景やその特徴をとらえ、音楽を自分なりに評価しながら、よさや美しさを味わって鑑賞している。	<ul style="list-style-type: none">・授業態度・提出物・授業プリント・実技テスト・定期考査
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none">・音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	<ul style="list-style-type: none">・授業態度・提出物・授業プリント・実技テスト

4 授業の取り組みについてのアドバイス

- ・教科書2冊、ニューコーラスフレンズ、ファイル、ソプラノリコーダー、アルトリコーダー、筆記用具の忘れ物をしない。（すべてバッグに入れてロッカーに置いておく。）
- ・積極的に授業を受け、授業中に私語をしない。
- ・課題に前向きに取り組む。

5 家庭学習の進め方についてのアドバイス

- ・歌唱、合唱曲については歌詞を読み、歌詞の理解を深める。
- ・鑑賞した楽曲などは背景や特徴について調べ学習をする。
- ・ワークシートや教科書を使って復習をする。

6 定期テスト前の取り組みについてのアドバイス

- ・授業で配布されたプリントを覚える。
- ・歌詞や作詞作曲者、音楽用語などの基本的事項を覚える。

7 苦手な人の取り組みについてのアドバイス

- ・歌うことが苦手、リコーダーが苦手など、苦手意識をもっている人は、失敗や間違いを恐れずに何度も練習しましょう。
- ・できないことを隠すのではなく、積極的に授業で質問してください。どこでつまづいているのか分かれば、アドバイスすることもできます。